

国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う事業方式検討調査委託に係るプロポーザル方式による事業者選定の審査講評について

猪名川上流広域ごみ処理施設組合は、国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う事業方式検討調査委託を実施する事業者の選定について、国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う事業方式検討調査委託に関するプロポーザル審査委員会による客観的な評価の結果を審査講評により公表します。

令和5年6月9日

猪名川上流広域ごみ処理施設組合  
管理者 越田 謙治郎

国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う  
事業方式検討調査委託に係る公募型プロポーザル

審 査 講 評

令和5年6月9日

国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う  
事業方式検討調査委託に関するプロポーザル審査委員会

国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う事業方式検討調査委託に係るプロポーザル審査委員会は、国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う事業方式検討調査委託に関して、採点基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

令和5年6月9日

国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う  
事業方式検討調査委託に係るプロポーザル審査委員会

委員長 堀 伸 介

## 1. 審査委員会

事業者の選定にあたり、委員 5 名で構成する国崎クリーンセンター基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う事業方式検討調査委託に関するプロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、プロポーザル審査基準に基づき応募者から提出された参加申請書等及び提案書等の審査を行い、優先事業者を選定しました。

委員会の構成は、次に示すとおりです。

| 役職   | 委員氏名  | 所属等                       |
|------|-------|---------------------------|
| 委員長  | 堀 伸介  | 猪名川上流広域ごみ処理施設組合 事務局 次長兼主幹 |
| 副委員長 | 増井 教生 | 川西市 美化衛生部 美化推進課 課長        |
| 委員   | 春名 恵介 | 猪名川町 地域振興部 農業環境課 課長       |
| 委員   | 古畑 まき | 能勢町 産業建設部 地域振興課 課長        |
| 委員   | 泊 進   | 豊能町 住民部 環境課 課長            |

## 2. 審査委員会開催内容

審査委員会を以下のとおり開催しました。

| 審査委員会 | 開催日             | 審議・審査等の事項                |
|-------|-----------------|--------------------------|
| 第 1 回 | 令和 5 年 5 月 12 日 | 委員長及び副委員長の選出、事業概要等に関する検討 |
| 第 2 回 | 令和 5 年 5 月 17 日 | 審査、ヒアリング、優先事業者の選定        |

## 3. 審査の評価方法

提案内容について、審査委員会と事務局が審査を行いました。

### （1）定性的審査に関する事項

審査は、プレゼンテーション等による提案内容について、プロポーザル審査基準に基づき、項目ごとに数値化（5 段階評価：A～E を得点化）して採点し、各委員による評点から平均点を算出しました。その平均点を合計し、最高得点が得られた者を優先事業者として決定しました。

ただし、1 つ以上の評価項目において、評価ランクが E ランクとなった場合、かつ価格点を除く定性的審査の評価点が 90 点中 22.5 点未満の場合、優先事業者として認めないものとなりました。

| 評価 | 判断基準    | 得点化方法     |
|----|---------|-----------|
| A  | 特に優れている | 配点×1.00 点 |
| B  | 優れている   | 配点×0.75 点 |
| C  | 普通      | 配点×0.50 点 |
| D  | やや劣っている | 配点×0.25 点 |
| E  | 劣っている   | 配点×0.00 点 |

(2) 定量的審査に関する事項

見積価格の評価方法は以下のとおりとしました。

提案見積価格点＝10 点×（最低提案見積価格/当該提案見積価格）

前者のうち、提案価格が最低である者を1位とし、10 点付与します。その他の者は、見積価格の評価方法により算出した点数の小数第3位を四捨五入します。

4. 審査結果

(1) 提案額及び応募資格の確認

事務局は、プロポーザルに参加した以下の2者の提案額が、いずれも提案上限金額以下であることと、実施要領に記載したプロポーザル参加者が備えるべき応募資格を満たしていることを確認し、委員会は報告を受けました。

| 番号  | 第1号                         | 第2号                   |
|-----|-----------------------------|-----------------------|
| 応募者 | パシフィックコンサルタンツ<br>株式会社 神戸事業者 | 株式会社エイト日本技術開発<br>神戸支店 |

(2) 定量的審査（価格点）の算出

事務局は、見積書に記載された金額より価格点を算出し、委員会は報告を受けました。

| 番号     | 第1号             | 第2号         |
|--------|-----------------|-------------|
| 提案見積価格 | 5,940,000 円     | 7,700,000 円 |
| 価格点    | 10.00（最低提案見積価格） | 7.71        |

(3) 審査項目に基づく提案内容の審査

審査委員会は、各応募者の提案内容について、予め公表されたプロポーザル審査基準に基づき、定性的審査の項目ごとに評価を行い、数値化して採点しました。

| 評 価 基 準     |             |                                          | 第1号  | 第2号  |
|-------------|-------------|------------------------------------------|------|------|
| 評 価 項 目     | 配点<br>(100) | 評価基準                                     | 得点   | 得点   |
| 1 業務遂行能力    | ①会社概要・体制    | 5 企業の規模・能力及び体制が適切に構築されており、役割や責任が明確か      | 2.5  | 3.75 |
|             | ②業務実績       | 5 類似業務の実績(平成21年度以降)                      | 3.75 | 3.75 |
|             | ③主任技術者      | 10 類似業務の実績(平成21年度以降)                     | 7.5  | 7.5  |
|             | ④担当技術者      | 5 類似業務の実績(平成21年度以降)                      | 2.5  | 3.75 |
| 2 提案内容      | ①実施方針       | 20 業務実施にあたって重視する点、他と比較して特色と考える視点が示されているか | 13   | 13   |
|             | ②業務スケジュール   | 5 目的達成のための確実性かつ的確なスケジュールが組めているか          | 3.25 | 2.75 |
|             | ③参入意向調査     | 10 調査方法や考え方、競争性を高める提案がどのようなものか           | 6    | 6.5  |
|             | ④課題と解決策     | 15 業務課題の認識とその解決策について示されているか              | 8.25 | 8.25 |
| 3 プレゼンテーション | ①説明力・取り組み意欲 | 5 論理的に説得できるか、取り組み意欲が感じられるか               | 2.75 | 2.75 |
|             | ②資料調整力      | 5 提案技術、提案資料がわかりやすいか                      | 2.75 | 2.75 |
|             | ③対応力        | 5 質問に対する把握・回答は的確か                        | 3.25 | 3.25 |
| 定性評価小計      |             |                                          | 55.5 | 58   |

#### (4) 各提案に対する評価の概要

審査委員会における評価の概要は、以下のとおりである。

##### ○評価するポイント（共通）

###### (業務遂行能力)

- ・業務に携わる予定の管理技術者及び担当技術者の類似業務における経験は非常に豊富である点は評価できる。
- ・事業の中でも分野毎に担当者を配置し、かつ専門知識を有する者の配置計画が提案されたことは評価できる。

###### (業務スケジュール)

- ・業務スケジュールについて、期日に対してタイトな工程であるとの認識の中で、総事業費の算出にあたって、見積条件書等の準備とともに、事業者の検討期間を約1.5カ月確保するよう提案があったことは評価できる。

##### ○評価するポイント（個別）

###### 【第1号】

###### (業務実績からの当施設の現況把握)

- ・過去に当施設の包括管理運営委託業務の発注支援業務に携わるなど、当組合のこれまでの取組みを深く理解されており、業務の課題と解決方法について、廃棄物処理事業の確実な実施と事業費削減効果の実現を具体化することを目的に事業スキームの設定を提案されたことは評価できる。

(財政負担額の縮減等)

- ・各種交付金や補助金の要件確認と想定される CO2 削減率による収支シミュレーションを行い、適切な財政支援制度を抽出する提案がされたことは評価できる。

(安価な提案価格)

- ・提案見積価格について、業務に当たる技術者の人工と会社経費の低減により最適な提案がされたことは評価できる。

(業務スケジュール)

- ・参入意向調査と事業費調査を同時進行とするなど、タイトな工程を確実に遂行するための提案がされたことは評価できる。

(事業方式の選定)

- ・定性的側面、定量的側面、民間事業者の意見といった多角的な視点から検討を行い、将来にわたり十分な説明責任の確保が可能となる事業方式の選定支援に努める提案がされたことは評価できる。

## 【第2号】

(業務遂行能力)

- ・本業務に当たる技術者の職種区分が高い技術者の割合が高く、本業務に携わる技術者の総人工が多い提案がされたことは評価できる。
- ・業務に携わる担当技術者を多く配置する提案がされたことは評価できる。

(事業費調査の精度向上)

- ・当組合の意向、本施設の状況把握、基幹改良工事の先行事例調査等を踏まえ、事業者選定時の要求水準書と同レベルの要求水準書を作成する提案がされたことは評価できる。

(事業者との対話)

- ・事業費調査等において、見積提案内容の確認・見積の精査を目的として、事業者との対話・意見交換の機会を設定する提案がされたことは評価できる。

(リスクマネジメント)

- ・リスク管理方針書の作成によりリスクの細分化、顕在化した場合の対処方法の明確化、責任所在を明確化する提案がされたことは評価できる。

(事業手法の総合評価)

- ・VFM による定量評価と多角的視点による定性評価による「総合評価表」を作成する提案がされたことは評価できる。

(説明責任の担保)

- ・本事業の特徴、類似事例紹介、検討内容等をコンパクト、かつわかりやすく取りまとめた説明用資料の作成、説明補助等により、検討プロセスの可視化を行い、当組合の説明責任に配慮する提案がされたことは評価できる。

## 5. 総合評価

### (1) 優先事業者の選定

審査委員会は、総合評価点が最も高かった株式会社エイト日本技術開発 神戸支店を優先事業者に選定しました。

なお、提案内容の審査段階において、価格点の定量評価は伏せて審査を行い、審査終了時に価格点、総合評価点の確認を行いました。

| 評価項目   | 株式会社エイト日本技術開発 神戸支店 | パシフィックコンサルタンツ 株式会社 神戸事業所 |
|--------|--------------------|--------------------------|
| 定性的評価点 | 58.00              | 55.50                    |
| 定量的評価点 | 7.71               | 10（最低提案見積額）              |
| 総合評価点  | 65.71              | 65.50                    |
| 順位     | 1                  | 2                        |

### (2) 総評

はじめに、本事業に対して関心を持っていただいたこと、提案資料等の作成にあたって多大な労力をかけ、知識を生かした貴重なご提案をいただいたことに対して、すべての応募者に感謝申し上げます。

提案のあった提案資料等は、本事業の内容、当組合の状況を十分に理解し、これまでの各企業の実績を基に、事業方式検討調査のみならずアドバイザー業務にも精通すると認められる最適な企画提案が示されていました。

これらの提案に対して委員会は、プロポーザル評価基準に基づき、意欲及び実績・能力等を総合的に審査を行い、株式会社エイト日本技術開発 神戸支店を優先事業者として選定しました。

今後、株式会社エイト日本技術開発 神戸支店は事業契約を締結し、本事業が施設の安定稼働を維持することに寄与し、多くの近隣住民の安心・安全な暮らしに直結することを意識しながら、将来必要となる基幹改良事業及び包括管理運営業務に伴う事業方式の検討調査を行うよう期待します。